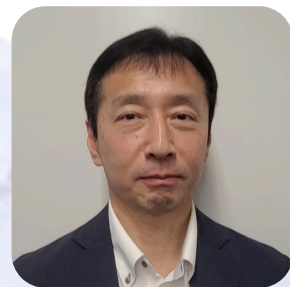


# Pray for Japan

パルシステム東京  
東日本大震災復興支援活動報告書2023

2023年度も「3.11を忘れない」の思いを大切に、復興支援活動に取り組みました。そのひとつとして、4年ぶりに組合員とご家族にも参加いただき、これまでの福島県から、「みやぎ復興スタディツアー」として被災地への訪問を再開することができました。現地では震災当時のお話や、現在の復興の様子を組合員とともに共有することができました。改めて大震災から13年が経過し、これからの月日の経過とともに変わっていく状況の中、このようなスタディツアーを通して組合員とともに直接見て、聞いて、共有することは、とても貴重な機会であることを痛感しました。これからも「3.11を忘れない」の思いを胸に、復興支援活動に取り組んでいきます。



生活協同組合パルシステム東京  
専務理事 杉原 学

## みやぎ復興スタディツアー2023

みやぎ復興スタディツアー2023の  
活動レポートはこちらから ▶▶▶



語り部（大川伝承の会）  
鈴木典行さん



気仙沼市東日本大震災遺構



前浜マリンセンターでの交流

4年ぶりの被災地スタディツアーを開催。初日、児童74名、教職員10名が犠牲となった「石巻市震災遺構大川小学校」を語り部、鈴木典行さんをガイドにお願いしました。ご自身も娘さんをなくし辛い経験をしてらっしゃる中、当時の状況を語られる姿に命の大切さ、防災とは何かも考えさせられた時間でした。2日目は気仙沼復興祈念公園、気仙沼伝承館見学、椿のプロジェクトを推進している本吉町前浜の方々との交流もありました。

## 3.11シンポジウム

3.11を忘れない「忘れていませんか？13年前のあの日のことを  
～福島・宮城からのメッセージ～」

コロナ禍の中、オンラインでの開催を余儀なくされていましたが、今年度は4年ぶりの会場での開催、約80名の方々に集まっていただきました。第1部は福島県浪江町から、岡洋子さん、吉澤正巳さんの講演。第2部は宮城から、映画『「生きる」大川小学校津波裁判と闘った人たち』の上映&トークの2部構成、東北に想いを馳せる日となりました。

1954年千葉県四街道市出身  
東京農業大学農学部畜産学科卒業  
畜産農家浪江町の「希望の牧場・よしざわ」で原発事故で被ばくした被ばく牛を寿命まで生かしながら、原発の時代を乗り越える未来をめざしている。



吉澤 正巳さん

震災前は浪江町で農業を営む傍ら、浪江町婦人消防隊で活動。原発事故後福島市に避難。2014年から「浪江まち物語伝え隊」で浪江町の昔話と震災後を伝える紙芝居を上演する活動をしている。2018年に自宅倉庫を改造し、みんなが集う場「OCAFE」を週末運営している。近年は草木染めにも着手し、「namiro」としてハンカチや小物バッグなどの製作もしている。



岡 洋子さん

2023年11月に「みやぎ復興スタディツアー」で訪問した大川小学校を舞台にした映画『「生きる」大川小学校津波裁判と闘った人たち』の上映、映画にかかわった松本裕子プロデューサーと鈴木秀洋教授のトークを開催しました。



©2022PAO NETWORK INC.

左から、鈴木秀洋教授  
松本裕子プロデューサー

3.11シンポジウムの活動レポートは  
こちらから ▶▶▶





# 2023年度主な復興支援活動

4月	2023年度震災復興支援基金「パル未来花基金」は、7グループより申請があり全グループへ、総額194万6,000円を助成
4月15日	【オンライン】中筋純氏講演会 チェルノブイリと福島～原発事故を後世にどう伝えていくか～「チェルノブイリ子ども基金」と「未来の福島こども基金」の共催企画を後援。半世紀かかる廃炉作業、膨大な高レベルの放射能廃棄物、原発事故をどう後世に伝えるのか、考えるきっかけとなりました →参加者：141名（組合員外含む）
5月	パルシステムグループの「2023年度東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金」パルシステム東京推薦の7団体に470万円を贈呈
7月26日	【オンライン】「パル未来花基金」2022年度の助成グループ活動成果報告会を開催 参加者：→助成グループ9名
8月	パルシステム東京東日本大震災復興支援活動報告書2023をWEB発行、HPで公開
10月21日	【ハイブリット開催】～終わらない「東京電力福島第一原発事故」を考える～ パルシステム東京「子どもの甲状腺検診」拡大学習会を開催。「Dialogue For People」代表の佐藤慧氏と東京新聞記者片山夏子氏に登壇いただきました。 →参加者：会場11名、オンライン21名
11月	パルシステム東京の取引先金融機関「城南信用金庫ボランティア預金」の利息総額200万円を5団体に配分し贈呈
11月4日～5日	みやぎ復興スタディツアー2023 4年ぶりの被災地スタディツアーを開催 →参加者32名
12月2日～3日	「子どもの甲状腺検診」を12月2日に新宿本部、3日に三鷹で開催 →参加者：54名（2日間合計）
2024年1月8日～2月10日	パルシステムグループで「令和6年能登半島地震 緊急支援募金」に取り組み、組合員へ募金を呼びかけた結果、8,244万7,827円（グループ全体2億5,952万2,977円）が寄せられました。さらにパルシステムの産直産地や取引先、タイのパナナ産地から募金が寄せられ、総額2億6,177万4,483円となりました。被災した各自治体への義援金、現地の支援団体及び被災したメーカー・産地等で役立てられます。
2月24日	3.11を忘れない「忘れていませんか？13年前のあの日のことを～福島・宮城からのメッセージ～」4年ぶりの会場開催。2部構成で1部は福島から、浪江町の岡洋子氏と吉澤正巳氏に語っていただきました。2部では宮城から『「生きる」大川小学校津波裁判を闘った人たち』の上映&トークを開催 →参加者：74人

## 震災復興支援基金（パル未来花基金）

パルシステム東京組合員が商品やサービスを利用することでうまれた剰余金をもとに、組合員の東日本大震災復興支援活動を資金面で支援する募金です。2023年度は7グループへ総額194万6,000円を助成しました。



©星空キッズツアー

## 子どもの甲状腺検診

「いわき放射能市民測定室たらちね」と協力し、2015年から実施しています。たらちねクリニックの藤田院長は「継続して検診を受けることが大切」と私たちに伝えます。



## 令和6年能登半島地震 緊急支援募金



- 被災した産地や取引先7団体への災害見舞金
- 石川、富山、新潟の3県への義援金（日生協を通じて）
- 新潟市への義援金（パルシステム新潟ときめきを通じて）
- 被災地での支援活動を行う9団体

復興支援活動報告書のバックナンバーはこちら

